令和6年度 外国語科 「英語コミュニケーションⅡ」 シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 2年A~G組
教科書	Crossroads II (大修館書店)	副教材等	Cutting Edge Green (エミール出版) 、システム英単語Standard (駿台文庫)

1 学習の到達目標

- 聞くこと:ある程度の予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に 応じて捉えることができる。

- 応じて捉えることができる。 読むこと: ある程度の予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、文章の展開・書き手の意図、要点・概要・目的 に応じて必要な情報を捉えることができる。 話すこと (やり取り): ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、充分な補足説明 をつけて伝えたり、論理的に伝え合ったりすることができる。 話すこと (発表): ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、充分な補足説明を つけて伝えたり、論理的に伝えたりすることができる。 書くこと: ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な語句や文を用い論理的な文章構成で複数 パラグラフで書くことができる。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	学習項目	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)			領域				評価項	土は計画が中	
期	71	(CAN-DO記述・重点目標)	(教材名等)			聞	読	取	発	書	目数	(評価方法)	
		「聞くこと」国際支援活動に関するニュースやイン タビューを聞いたり読んだりして概要や要点を捉え ることができる。 「話すこと」メモを活用するなどすれば情報を十分 な説明と共に伝えられる。	Unit 1 A Practical Approach	Pair/Group talk、 Listening/reading		0		0					
				details, and making inferences,	思	0		0			6		
	4				態	0		0				活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ	
	5	「読むこと」説明文を読んで概要、要点に、詳細を	Unit 4 With a	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, detalis, and making inferences, Presentation	知		0		0			ンステスト 課題	
		把握できる。 「話すこと」情報や考えを十分な説明と共に分りや			思		0		0		6		
		すく伝えることができる。			態		0		0				
	第 1	第1回考査				0	0				4	聞く力、読む力を評価する問題	
	同					\circ	\circ						
前	考査												
期		「話すこと」語句等の支援をある程度与えられれば、食品や衣料品の廃棄削減について自分の考えや情報を充分な補足説明と共に伝えることができる。 「書くこと」語句等の支援をある程度与えられれば、食品や衣料品の廃棄削減について自分の考えや	Unit 2 Achieving Sustainability	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding detalis and paragraph organization, Writing opinions	知			0		0		活動の観察	
	6				態			0		0		後日筆記テスト・パフォーマンステスト	
	7	ば、食品や衣料品の廃棄削減について自分の考えや 情報を論理的な文章構成で書くことができる。	,		思			0		0		課題	
	8			Group Presentation, Q&A	知			0	0			パフォーマンステスト1	
	9	「話すこと」日常的・社会的な話題について、情報 や考えを十分な説明と共にわかりやすく伝えること	Presentation		思			0	0		6	活動の観察	
		ができる。			態			0	0				
	第 2	第2回考查					0						
	回考						0				4	聞く力、読む力を評価する問題	
1	查												

学	月	育成する資質能力 学習項目 学習内容や学習活動			評価の観点			域		評価項	主な評価規準	
期	/ •	(CAN-DO記述・重点目標)	(教材名等)	(主な言語活動等)		聞	読	取 }	発	書 数	(評価方法)	
	10	「話すこと」動物の環境保全や人間の共存について 情報や考えを十分な補足説明をつけて伝えたり、論 理的に伝え合ったりすることができる。 「書くこと」動物の環境保全や人間の共存について 説明や意見などを補足説明と共に論理的な文章構成	Unit 3 Living with Animals	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding opinions, Retelling, Debate/Discussion				С	(O	活動の観察	
								Э	(O 6	後日筆記テスト・パフォーマンステスト	
		で書くことができる。						Э	(С	課題	
	11	「読むこと」動物の環境保全や人間の共存について の説明を読んで文章の展開、要点・概要・詳細を捉 えることができる。	Supplementary Reading 1 Watch Your Step!	Reading for the gist and details	知		0				後日筆記テスト	
					思		0			3		
					態		0					
	12	「聞くこと」男女平等や多様性に関する話を聞き、要点・詳細、話し手の意図を捉えることができる。 「話すこと」男女平等や多様性について情報や考えを十分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝え合ったりすることができる。	Unit 5 Challenging Stereotypes	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, paragraph organization and making inferences, Retelling	知	0		Э				
					思	0		Э		6		
					態	0		Э			活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ	
		「話すこと」文化、歴史についての情報・考えを十 分な補足説明をつけて、論理的に伝えることができ る。	Unit 7 The Culture of Fireworks	Pair/Group talk, Listening/reading and understandig the gist, detalis, and making inferences, Retelling	知) (Э		は日季にノストンシステスト	
					思) C	Э	6		
		~.			態) (Э			
後	3	第3回考査					0		+			
期							0			4	聞く力、読む力を評価する問題	
	1 2	「話すこと」日常的・社会的な話題について、情報 や考えを十分な説明と共にわかりやすく伝えること ができる。	Presentation	Group Presentation, Q&A	知				Э		パフォーマンステスト2	
					思) (Э	6	活動の観察	
					態) (С			
	۷	「聞くこと」行動心理学などの専門家のインタ ビューを聞いて概要・要点や話の展開、話し手の意	Unit 6 Making	I and understanding the gist details	知	_	0				活動の観察	
	3	図。詳細を捉えることができる。 「話すこと」行動心理に関する話題についての情報 や考えを補足説明をつけて伝え合うことができる。	Choices		思	0	0			6	後日筆記テスト 課題	
					態	0	0					
		「読むこと」物語文を読んで文章の展開、書き手の 意図を捉えることができる	Supplementary Reading 2 Coffee- Shop Kindness	Reading and understanding the development of the story.	知		0					
					思		0			3	後日筆記テスト	
			Shop Kindness				0					
	第 4			知思	0	0		1				
	回考本	第4回考查					0	-		4	聞く力、読む力を評価する問題	
Щ.	査						ш				4	

3 評価の観点

	× 1907/11							
評価の観点	評価の観点 聞くこと		話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと			
知識・技能	ある程度の予備知識を与えられれば、自然に近いスピードで話された対話や説明の概要・要点や話し手の意図、必要な情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	ある程度の予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある程度の長さの英文を読んで、妻后・概要、必情報を目的に応じて捉えるための知識・技能を身につけている。	について,情報・考えを多様な語句や文を用い,充分な補足説明をつけて伝えたり,論理的に伝え合ったりするため	を多様な語句や文を用い, 充分な補足説明をつけて伝 えたり, 論理的に伝えるた	ある程度の支援を与えられれ ば、日常的・社会的な話題について、説明や意見などを多様な 語句や文を用い論理的な文章構成で複数パラグラフ書くための 知識・技能を身につけている。			
思考・判断・表現	予備知識を与えられれば、自然 に近いスピードで話された対話や 説明の概要・要点や話し手の意 図、必要な情報を目的に応じて捉 えている。	ある程度の予備知識を与えられれば、様々なジャンルのある 程度の長さの英文を読んで、書き手の意図、要点・概要、必ず な情報を目的に応じて捉えている。	れば、日常的・社会的な話題 について、情報・考えを多様	ある程度の支援を与えられれば、日常的・社会的な話題について、情報・考えを多様な語句や文を用い、充分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えている。	いて、 説明で息兄などを多体な			
主体的に学習に 取り組む態度	外国語の背景にある文化に対す る理解を深め、話し手に配慮しな がら、主体的、自律的に英語で話 されていることを聞こうとしてい る。	しながら、主体的、自律的に英	外国語の背景にある文化に 対する理解を深め、聞き手に 配慮しながら、主体的、自律 的に英語を用いて伝え合おう としている。	外国語の背景にある文化 に対する理解を深め、相手 に配慮しながら、主体的、 自律的に英語を用いて伝え ようとしている。				

評価の方法

定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト、活動・課題への取り組み(ワークシート・課題などの提出を含む)

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

学習計画には各ユニットで重点目標とする 4 技能 5 領域を示していますが、基本的にはどのユニットでも全ての技能・領域を含む様々な活動を行います。 1 つ 1 つの活動のねらいを理解し、課題も含めて授業内外で主体的、自律的に英語学習に取り組んでください。違う文化を持つ人にも自分の意見を言えるような英語力・積極的な態度を身につけること目指します。英語学習を通じて、視野を広げ、人として成長していきましょう。 グローバル化の社会では英語のコミュニケーション能力が求められます。また、大学入談においても実践的な英語力が問われるので、英語の知識を獲得するのはもちろん、英語の運用能力を高めていきましょう。 そのためには、英語のアラトプット (話す、書く)を意識して、インブット (聞く、読む)することが大切です。英語のまま理解し、英語の発想で表現できるようなるために、授業は基本的に英語で行います。予習はしなくて良いですが、授業後自分がきちんと理解できたかどうか確認し、わからない部分は辞書や参考書で調べたり、音読したりするなど復習しておきましょう。副教材も自分の学習に計画的に組み込んで活用することをお勧めします。辞書・タブレット端末の他にワークシートを整理するためにファイルを各自用意してください。宿題・課題は必ず期限を守って提出してください。